

入門 司法・犯罪心理学

法と心理学会(監修)

綿村英一郎=藤田政博=板山 昂=赤嶺亜紀(編)

担当編集から

タイムマシンで公認心理師制度が成立する2017年より前に戻ったら、「司法・犯罪心理学」という言い回しには違和感を覚えたことでしょうか。司法・犯罪心理学は、犯罪行為を「する側」のみならず、「された側」さらには「裁く側」も含めた人間心理の理解をめざす学問として、新たに公認心理師にとっての必修科目に据えられた区分です。

とはいえ、法と心理学、裁判心理学、司法心理学、犯罪心理学、捜査心理学、防犯心理学、……といった諸分野を抱え込んだ背景もあり、見直すべき余地がゼロとは言いきれません。こうしたある種の不安定さを孕んだ状態に、法と心理学会として軸を示すのが本書です。

本書の編集作業は、「現場の心理学」を描き出そうと意識しました。心理学は、高校以前の科目に対応するものがありません。大学で初めて触れる学問であり、にもかかわらず公認心理師になるには入学初年次から取り組む必要があります。このズレを埋めるのが本書です。

現場での物事の進み方に沿った構成と豊富な具体例で、「心理学を勉強して何の役に立つの? 社会でどう使われているの?」という声に1つの答えを示せればと思っています。(w)

Index

学会公認! 実際の刑事手続の時系列に沿って重要な基本トピックを学べます。

- 第1章 関連法, 施設, 職種
- 第I部 犯罪の原因**
 - 第2章 犯罪の生物学的要因
 - 第3章 犯罪の心理的要因
 - 第4章 犯罪の社会的要因
- 第II部 非行・犯罪への対応**
 - 第5章 非行
 - 第6章 DV
 - 第7章 虐待
 - 第8章 物質・プロセス依存
 - 第9章 窃盗・特殊詐欺・サイバー犯罪

- 第III部 司法の手続きと対応の流れ**
 - 第10章 捜査, 供述, 精神鑑定
 - 第11章 サポートが必要な被害者や被疑者への聴取
 - 第12章 目撃証言
 - 第13章 裁判
- 第IV部 支援**
 - 第14章 加害者の立ち直り支援
 - 第15章 司法と被害者
 - 第16章 子ども支援



レベル	用途	対象
初級	学習 教養	学部 一般

2022年3月発売/318頁/定価2530円(税込)
A5判/並製



各種補足資料も公開中!

